

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・工芸や伝統文化等地域に根ざした技能や豊かな経験を有する高齢者を「ふるさとの達人」として667人登録し、放課後児童クラブ等の施設や各種行事へ派遣し、高齢者の社会参加を促進した(派遣回数 6,991回)
②	・地域活動等に必要な知識や技術を学び、活動に結びつける「おおいたシニアリーダーカレッジ」を開講し、地域活動を担うリーダーの育成を図ることができた。(参加人数52人)
③	・老人クラブ会員が孤独感の解消や安否確認等を目的にひとり暮らし高齢者世帯の訪問を実施し、高齢者が安心して生活できる地域づくりを推進した。(訪問回数208,936回)
④	・高齢者に生きがいと就業機会を提供するため、(公社)シルバー人材センター連合会と協力して、事業の普及啓発に努めた結果、県下14ヶ所にシルバー人材センターが設置され、平成25年度末の設置率は16市町／18市町村の88.9%(会員数5,378人)となった。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(25年度事業)	事業コスト(千円)	26年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	はつらつ高齢者地域活動チャレンジ事業	8,483	継続	49
②	豊の国ねんりんピック開催事業	9,594	継続	50
③	老人クラブ助成事業	40,717	継続	51
④	高齢者雇用就業対策事業	11,800	継続	147

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県老人福祉計画策定協議会(H26.2.27)</p> <p>・老人クラブ会員数の低下の原因のひとつとして活動を引っ張ってくれる人がいないということがあげられる。また、老人クラブだけではなく世代を超えた組織づくりが必要なのは。</p>	<p>○第5回「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会(H25.10.10)</p> <p>・老人会の平均年齢が高く、若い人が入っていない。地域活動が活発になるように、老人会に若い人が入るようなくみを検討してはどうか。</p>
--	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の豊かな知識や経験、技術を生かした地域活動を促進するため、「ふるさとの達人」の掘り起こしを引き続き行うとともに、子育て分野や福祉施設への派遣の支援を行い、地域活動の活躍の場を拡大する。 ・元気で地域活動に意欲のある高齢者を対象とした「おおいたシニアリーダーカレッジ」の開講を引き続き行い、様々な分野で活躍できる人材を育成する。また、修了生に対してのフォローアップや立ち上げの支援等を行うことで、高齢者の社会参加を推進する。 ・豊の国ねんりんピックの趣旨を市町村・関係団体・県民へ周知し、文化部門・スポーツ部門への参加を促進する。 ・老人クラブ活動を活性化するための企画や、若手高齢者による組織化・会員の新規加入促進等に資する各種事業を支援する。 ・シルバー人材センター会員の育成を支援し、多様な就業ニーズに応じた就業機会を確保する。